



平成29年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年5月12日

上場会社名 東亜バルブエンジニアリング株式会社
 コード番号 6466 URL <http://www.toavalve.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 真鍋 吉久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 飯田 明彦

TEL 06-6416-1184

四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日

配当支払開始予定日

平成29年6月19日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第2四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第2四半期	3,846	△3.7	133	54.4	150	51.4	92	42.9
28年9月期第2四半期	3,995	△20.9	86	△85.4	99	△83.5	64	△88.2

(注)包括利益 29年9月期第2四半期 170百万円 (342.2%) 28年9月期第2四半期 38百万円 (△93.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第2四半期	40.75	—
28年9月期第2四半期	27.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第2四半期	10,561	7,250	68.2
28年9月期	10,794	7,114	65.6

(参考)自己資本 29年9月期第2四半期 7,198百万円 28年9月期 7,075百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	15.00	—	15.00	30.00
29年9月期	—	15.00	—	—	—
29年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は定款において第2四半期末と期末日を基準日と定めておりますが、第2四半期末は1株当たり15円とし、期末日における配当予想額は現時点では未定であります。なお、配当予想については、本日(平成29年5月12日)公表いたしました「平成29年9月期中間配当に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,300	△2.6	100	△59.5	140	△52.7	90	△61.2	38.64

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期2Q	2,678,600 株	28年9月期	2,678,600 株
② 期末自己株式数	29年9月期2Q	411,112 株	28年9月期	410,856 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期2Q	2,267,610 株	28年9月期2Q	2,334,381 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成28年10月1日から平成29年3月31日まで）におけるわが国経済は、依然として海外経済の不確実性からくる影響に留意しつつも、好調な企業業績や雇用・所得環境の改善傾向を背景に、緩やかな回復基調の中で推移いたしました。

当社グループは、原子力・火力発電所用バルブの製造とメンテナンスを主な事業としておりますが、東日本大震災の津波による東京電力福島第一原子力発電所事故以降、基盤事業である原子力発電所（以下、「原発」）定期検査工事案件が激減したことから非常に厳しい事業運営を余儀なくされております。しかし、大阪高裁が3月に関西電力高浜原発の運転差し止めの仮処分決定を取り消したことで、今夏前までには同原発の再稼働が見込まれる状況となったことは当社グループにとって朗報であり、一昨年九州電力川内原発、昨年四国電力伊方原発に続く同原発の再稼働は、今後の事業環境改善に大きく繋がっていくものと考えております。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間におきましては、九州電力川内原発の再稼働後最初の定期検査工事、今後再稼働を予定する原発向け再稼働準備工事を中心とした原発関連案件に加え、火力発電所のバルブ保守・補修需要に由来する、取替用バルブ・部品の製造及びメンテナンス工事等のバルブ事業を中心に、製鋼事業、除染事業の更なる拡大を図ることで、当期業績予想値と中期経営計画のマイルストーン達成に向け全力で取り組んでまいりました。

しかし、再稼働が有力な原発が運転を一部既実現し、或いは近づきつつあること、超々臨界火力発電の建設計画減速等々で大型案件が乏しくなると共に案件数も減少気味であったことなどから、当第2四半期連結累計期間の売上高は38億46百万円（前年同期比3.7%減）に留まりました。

採算面においても、収益の伸び悩みに加え、工場操業度維持等のための不採算案件受注で新規の受注損失引当金繰入が増加するなど非常に厳しい状況となりましたが、比較的採算性の高い原発関連、メンテナンス関連の収益が拡大したことに加え、下期以降の納品に向け生産が高水準に推移したことでのた卸資産が増加した影響もあり、営業利益1億33百万円（前年同期比54.4%増）、経常利益1億50百万円（同51.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益92百万円（同42.9%増）と、それぞれ増益となりました。

報告セグメント別の状況は、バルブ事業では前述のとおり、九州電力川内原発向け定期検査工事のほか、関西電力大飯原発、高浜原発の再稼働準備関連工事などで、原発関連売上がバルブ事業の売上高の半分近くに達し、加えてバルブメンテナンスをはじめとした役務提供関連売上が中心となったことから、前年同期に比して9.3%の減収となる28億56百万円の売上高に留まったものの、セグメント利益については6.7%の増益とすることができました。

製鋼事業は、業界全体の状況が年々厳しさを増す中であって、売上高はほぼ前年並みの6億36百万円（前年同期比0.7%減）を維持することができましたが、市場価格の下落には抗えず、セグメント利益は76百万円の赤字（前年同期は73百万円の赤字）で損失額は増加しました。

除染事業においては、被災地の避難指示区域が徐々に解除されていることに伴い大型案件が減少する状況にあります。ここまでのところは、売上高は3億58百万円（前年同期比73.7%増）、セグメント利益は47百万円（同106.9%増）で増収増益となりました。しかし、セグメント全体の事業規模は縮小傾向にあって、今後、福島原発の廃炉関連事業への取り組みをより強めていく方針です。

表：報告セグメント内の種類別売上高

報告セグメント	種類別の売上高	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同四半期比 (%)
バルブ事業	バルブ（新製弁）	703	537	△23.5
	バルブ用取替補修部品	548	494	△9.7
	原子力発電所定期検査工事	476	683	43.4
	その他メンテナンス等の役務提供	1,419	1,140	△19.7
	小計	3,148	2,856	△9.3
製鋼事業	鋳鋼製品	641	636	△0.7
除染事業	地域除染等	206	358	73.7
消去又は全社		—	△5	—
	合計	3,995	3,846	△3.7

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産残高は105億61百万円で、前連結会計年度末に比して2億33百万円減少しました。営業債権の回収により受取手形及び売掛金が6億79百万円減少したものの、銀行借入金の返済などにより現金及び預金の実質的増加（現金及び預金と有価証券の合計の増加）が2億10百万円に留まったことによるものです。

なお、現金及び預金が12億78百万円減少しているのは、当座の余剰資金を短期の有価証券で運用しているため、現金及び預金と有価証券の合計での比較では、先に記したとおり2億10百万円の増加となっております。

負債残高は33億10百万円で、前連結会計年度末に比して3億68百万円減少しました。銀行借入金の約定弁済による減少が2億85百万円あったことが主な要因です。

純資産の残高は72億50百万円で、主にその他有価証券評価差額金が株価の上昇により増加したことなどにより、前連結会計年度末に比して1億35百万円増加しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の四半期末残高は38億63百万円で、前連結会計年度末に比して、2億10百万円増加しました。

各分類別のキャッシュ・フローの状況は、営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益1億47百万円を計上したほか、売上債権が6億79百万円減少したことを主因に、5億82百万円のキャッシュ・イン（前年同期は2億47百万円のキャッシュ・アウト）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備維持投資を中心とした支出により54百万円のキャッシュ・アウト（前年同期は49百万円のキャッシュ・アウト）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、銀行借入金の約定弁済による支出を主な要因に、3億28百万円のキャッシュ・アウト（前年同期は5億13百万円のキャッシュ・アウト）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間までの、平成28年11月10日に「平成28年9月期 決算短信」で公表した予想値の達成状況は下表のとおりです。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
平成28年11月10日公表値	8,300	100	140	90
当第2四半期連結累計期間	3,846	133	150	92
達成割合	46.3%	133.1%	107.6%	102.7%

売上高は予想値の半分に達しておらず、ここまでの受注状況及び下半期の受注計画からは、下半期の巻き返しはやや厳しい状況にありますが、さらに不確実な部分もあることから、これまでの想定を維持いたします。

利益については、当第2四半期連結累計期間で既に達成した形ですが、下半期においても不採算案件の受注から生じる受注損失引当金の新規計上が見込まれており、また、期末のたな卸資産残高の増減による損益影響も定かではないことから、これまでの想定のままといたします。

なお配当の予想につきましては、本日（平成29年5月12日）公表いたしました「平成29年9月期中間配当に関するお知らせ」に記載しておりますので、お手数ですがそちらをご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,642,646	2,363,890
受取手形及び売掛金	3,155,870	2,476,682
有価証券	10,031	1,499,698
商品及び製品	99,898	132,555
仕掛品	1,037,099	1,219,930
原材料及び貯蔵品	709,028	726,001
その他	80,314	77,450
貸倒引当金	△6,000	△4,521
流動資産合計	8,728,889	8,491,687
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	368,557	353,040
機械装置及び運搬具(純額)	567,458	515,007
土地	261,363	261,363
その他(純額)	88,109	101,383
有形固定資産合計	1,285,488	1,230,794
無形固定資産	177,958	166,466
投資その他の資産		
投資有価証券	546,310	618,263
その他	67,169	64,044
貸倒引当金	△11,544	△10,022
投資その他の資産合計	601,935	672,285
固定資産合計	2,065,382	2,069,546
資産合計	10,794,271	10,561,233
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	744,400	644,294
短期借入金	10,000	—
1年内返済予定の長期借入金	538,300	508,300
未払法人税等	7,503	56,944
賞与引当金	290,952	220,420
役員賞与引当金	14,914	—
受注損失引当金	396,179	499,560
その他	328,966	256,492
流動負債合計	2,331,216	2,186,011
固定負債		
長期借入金	379,414	134,014
繰延税金負債	65,525	87,464
P C B 処理引当金	18,160	18,160
退職給付に係る負債	764,991	752,242
その他	120,458	133,020
固定負債合計	1,348,550	1,124,902
負債合計	3,679,766	3,310,913

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,739,559	1,739,559
資本剰余金	2,019,967	2,019,967
利益剰余金	3,857,249	3,915,526
自己株式	△682,885	△683,192
株主資本合計	6,933,890	6,991,860
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	174,974	225,107
為替換算調整勘定	7,205	17,702
退職給付に係る調整累計額	△40,245	△36,281
その他の包括利益累計額合計	141,934	206,529
非支配株主持分	38,680	51,930
純資産合計	7,114,505	7,250,320
負債純資産合計	10,794,271	10,561,233

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
売上高	3,995,612	3,846,627
売上原価	3,184,992	2,966,804
売上総利益	810,620	879,822
販売費及び一般管理費	724,449	746,766
営業利益	86,170	133,056
営業外収益		
受取利息	2,097	664
受取配当金	5,436	6,184
雑収入	13,771	14,926
営業外収益合計	21,306	21,775
営業外費用		
支払利息	7,772	3,912
雑損失	255	307
営業外費用合計	8,027	4,219
経常利益	99,449	150,612
特別利益		
固定資産売却益	638	953
特別利益合計	638	953
特別損失		
固定資産処分損	8,721	4,132
ゴルフ会員権評価損	4,300	—
特別損失合計	13,021	4,132
税金等調整前四半期純利益	87,066	147,433
法人税、住民税及び事業税	13,622	41,520
法人税等調整額	3,075	254
法人税等合計	16,697	41,774
四半期純利益	70,369	105,659
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,699	13,249
親会社株主に帰属する四半期純利益	64,669	92,409

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)
四半期純利益	70,369	105,659
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36,256	50,133
為替換算調整勘定	1,015	10,497
退職給付に係る調整額	3,369	3,964
その他の包括利益合計	△31,871	64,595
四半期包括利益	38,497	170,254
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	32,798	157,004
非支配株主に係る四半期包括利益	5,699	13,249

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	87,066	147,433
減価償却費	135,154	126,483
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,000	△3,000
賞与引当金の増減額 (△は減少)	48,528	△70,531
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△14,914
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△50,260	103,381
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△22,671	△8,783
受取利息及び受取配当金	△7,534	△6,848
支払利息	7,772	3,912
固定資産売却損益 (△は益)	△638	△953
固定資産処分損益 (△は益)	8,721	4,132
ゴルフ会員権評価損	4,300	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△205,414	679,188
たな卸資産の増減額 (△は増加)	79,182	△232,460
仕入債務の増減額 (△は減少)	8,147	△100,106
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△182,547	23,447
その他	△68,153	△71,972
小計	△161,346	578,407
利息及び配当金の受取額	7,152	6,195
利息の支払額	△7,813	△3,796
法人税等の支払額	△86,014	△12,694
法人税等の還付額	954	14,334
営業活動によるキャッシュ・フロー	△247,068	582,446
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△45,929	△39,730
有形固定資産の売却による収入	967	1,038
有形固定資産の除却による支出	△5,598	△64
無形固定資産の取得による支出	—	△20,046
長期貸付金の回収による収入	3,000	3,000
その他	△1,619	1,148
投資活動によるキャッシュ・フロー	△49,180	△54,654
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△10,000	△10,000
長期借入れによる収入	20,000	—
長期借入金の返済による支出	△430,400	△275,400
リース債務の返済による支出	—	△8,239
自己株式の取得による支出	△196	△306
配当金の支払額	△93,044	△34,271
財務活動によるキャッシュ・フロー	△513,641	△328,218
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,027	11,337
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△808,863	210,911
現金及び現金同等物の期首残高	4,636,235	3,652,677
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,827,371	3,863,589

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	バルブ事業	製鋼事業	除染事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,148,047	641,039	206,525	3,995,612	—	3,995,612
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,148,047	641,039	206,525	3,995,612	—	3,995,612
セグメント利益又は損失(△)	470,243	△73,507	23,129	419,864	△333,693	86,170

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△333,693千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	バルブ事業	製鋼事業	除染事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,851,453	636,396	358,776	3,846,627	—	3,846,627
セグメント間の内部売上高又は 振替高	5,145	—	—	5,145	△5,145	—
計	2,856,599	636,396	358,776	3,851,772	△5,145	3,846,627
セグメント利益又は損失(△)	501,879	△76,169	47,862	473,571	△340,514	133,056

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△340,514千円には、セグメント間取引消去3,600千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△344,114千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。